

# チェックゲートシステムの使い方

## ■ 操作画面

### システム画面（入モード）

#### 滞留者数

入った人数-出た人数

#### ウィンドウサイズボタン

左：標準ウィンドウ、右：全画面表示

#### 入モード切替ボタン

入モード時：青色表示  
「入った人数」表示

#### 出モード切替ボタン

出モード時：赤色表示  
「出た人数」表示

#### 読取コード表示ボックス

読み取ったコードを  
文字で表示

#### 停止ボタン

#### テキストボックス

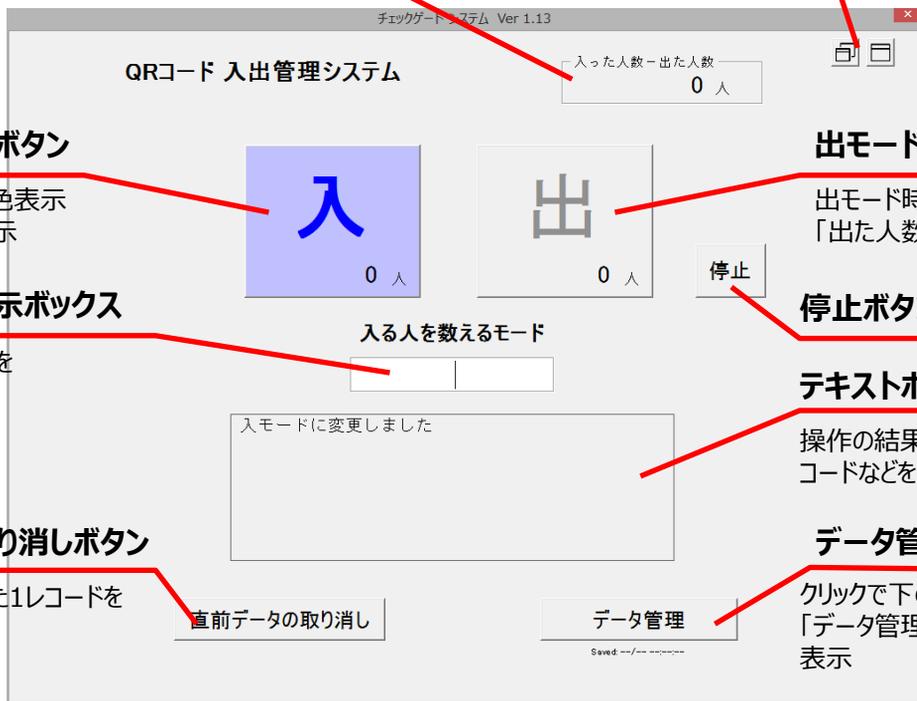
操作の結果、読み取った  
コードなどをテキストで表示

#### 直前データ取り消しボタン

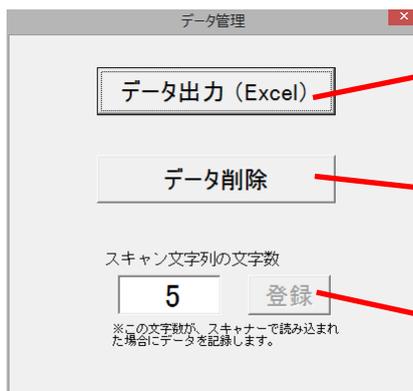
直前に読み取った1レコードを  
削除

#### データ管理ボタン

クリックで下の  
「データ管理ウィンドウ」を  
表示



### データ管理画面



#### データ出力ボタン

現在のデータをエクセル形式でデスクトップに保存

#### データ削除ボタン

現在保存されているデータを削除

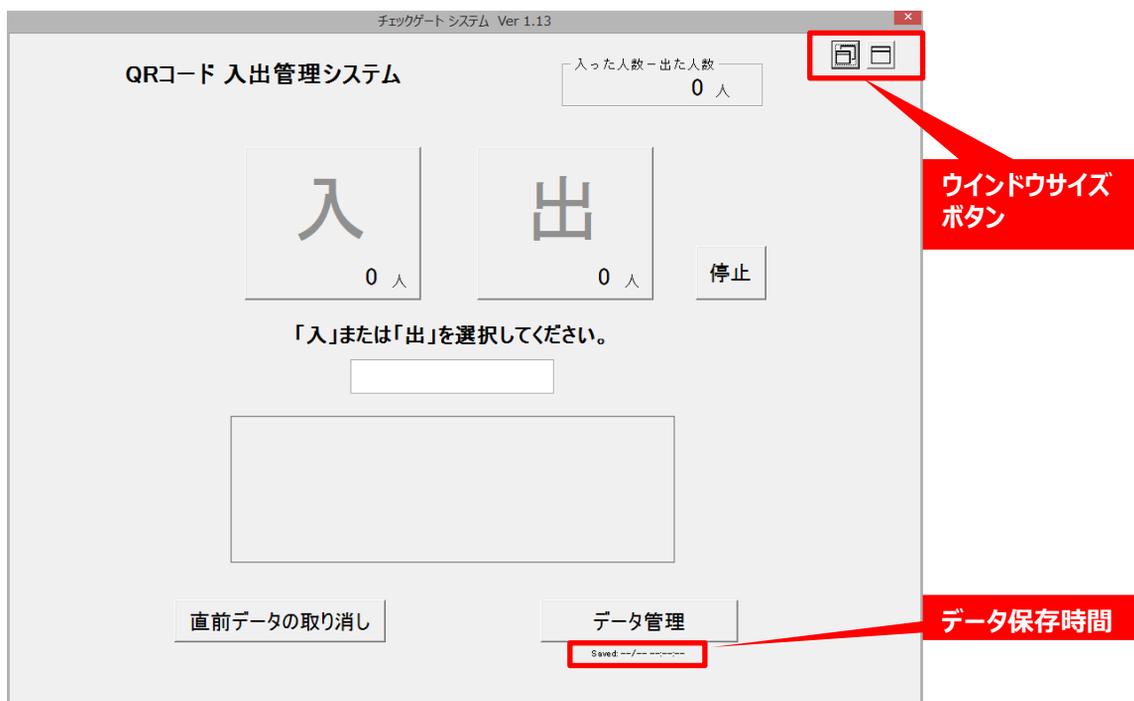
#### コードの文字数指定

左のテキストボックスに読み取るコードの文字数を  
半角数字で入力後、「登録ボタン」をクリックで確定

## ■ 使用前の準備

### ● システムファイルの起動

1. システムファイル「チェックゲートシステムv1.13（v以下はバージョン）」を、使用するPCにコピーしてください。  
※Exell上で動作し、ファイルの保存なども.xlsxmでされますので、ExellがインストールされていないPCでは使用できません。また、特別なアプリケーションのインストール等はひとつありません。  
※動作はWindows OSでしか、検証されていません。
2. ファイルをWクリック（または右クリックのしかるべきメニュー）して起動してください。
3. 起動時、ワークシートが表示され、リボン（メニューバー）直下に「セキュリティの警告」が表示された場合は、「コンテンツの有効化」をクリックして、システムを起動してください。システムの画面が表示されます。

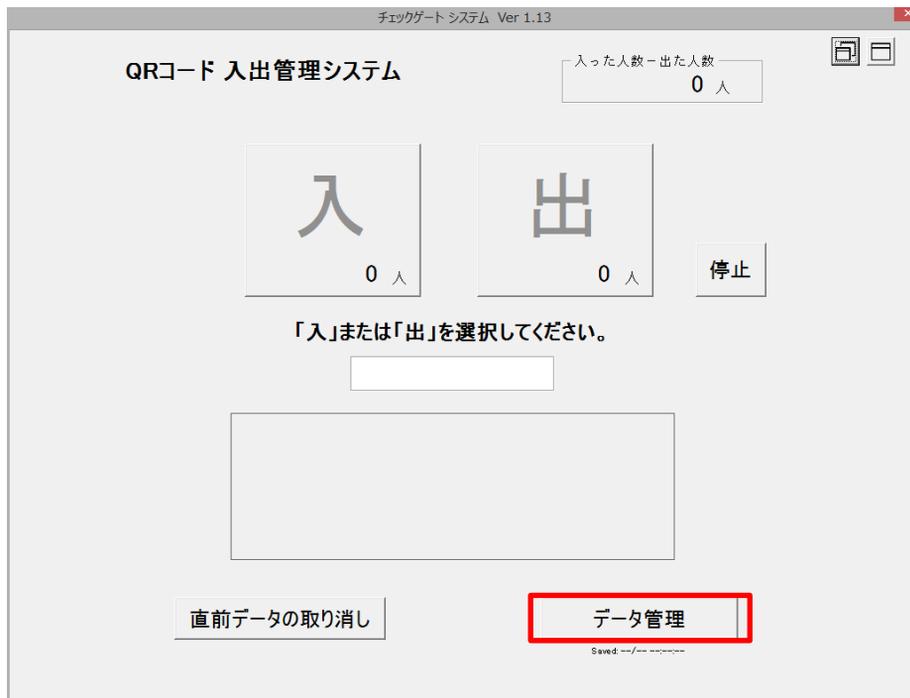


システム画面

4. 全画面で使用する場合、ウインドウの周りに余白がある（特に初回起動時）ことがあります。右上のウィンドウサイズボタン「標準サイズ（左側）」で標準サイズにした後、「最大化ボタン」でウィンドウを最大サイズにすれば解消されます。  
※タスクバーの設定などにより一部余白が残る場合があります。（特に、「タスクバーを隠す設定」やタスクバーの表示位置を変えている場合は、余白が残ります）
5. 本システムは3分毎に、自動でデータを保存します。データ保存は、3分毎に自動で行われますが、スキャン中のほか、PCに負荷がかかっている場合（自動アップデート時やハードディスクのスキャン時など）はスキップします。  
※読込開始後、最初の3分の時点でPCに負荷があり、自動保存がされない場合、システムエラーとなり、以降自動保存が行われない場合があります。本番3分以上前に（可能なら10分前程度）に起動、テスト読込を行い、自動保存が行われているか確認していただくことをお勧めします。自動保存が行われていなくてもそれ以外の機能には影響ありません。

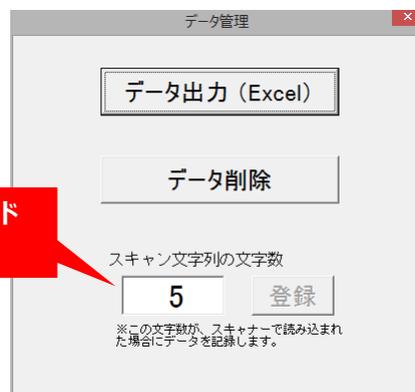
## ■ 使用前の準備

### ● 初期設定



### システム画面

1. システム画面の「データ管理」ボタンをクリックして、データ管理ウインドウを表示します。
2. データ管理画面の「スキャン文字列の文字数」のテキストボックスに使用するQRコードの文字数を半角数字で入力してください。  
※本システムはこの文字数を1レコードとして記録します。したがって、例えば、5ケタと7ケタのコードを同時に使用することはできません。
3. 文字数の入力後、右の「登録ボタン」をクリックしてください。文字数が変更されます。
4. 前回のデータを削除し、新たにデータを記録したい場合は、「データ削除」ボタンをクリックすることで、記録されているデータを削除できます。復元できませんので、必要に応じてデータ出力をしてください。  
※「データ出力」ボタンをクリックすることで、デスクトップ上に、現在のデータをExcelファイルで保存できます。ファイル名の末尾には出力した年月日、時間が記録されます。
5. 設定が終了したら、「データ管理画面」を閉じてください。



### データ管理画面

### ● コードスキャナの接続

1. コードスキャナをUSB接続してください。トラブル回避のため、Bluetoothは推奨しません。
2. スキャナの接続は、システムの起動前後を問いません。

※コードスキャナを取り外すとき、OSが強制終了する場合がありますので、取り外し前にシステムを終了するか、データの出力をするようお勧めします。(スキャナとPC間の問題)

## ■ 本番

※リハーサルは本番と同様に実施、本番前に初期状態にしてください。



システム画面（入モード）

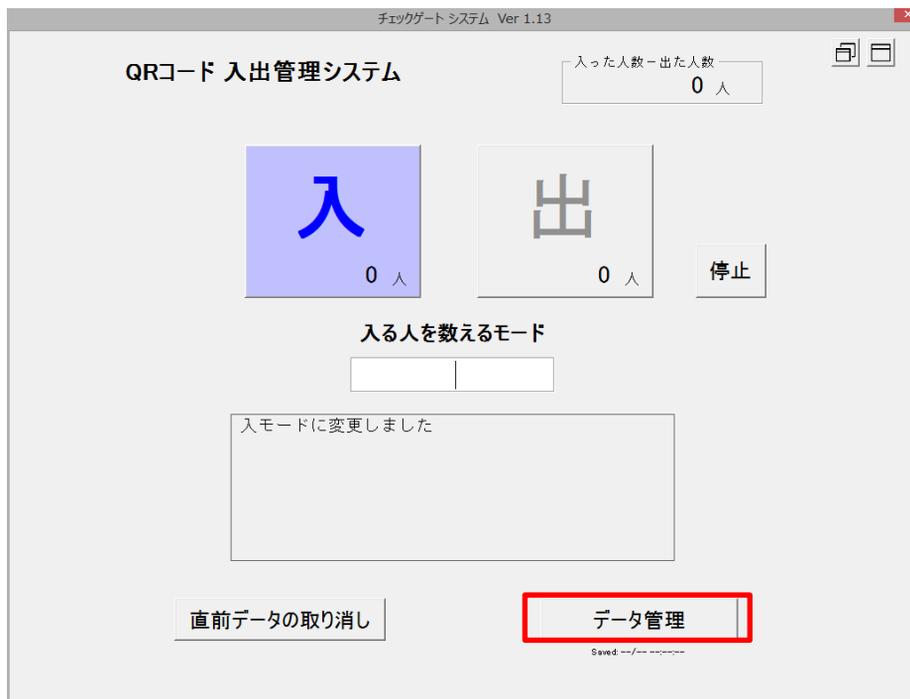
## ● コードのスキャン

1. 「入」または「出」のボタンをクリックして、スキャン待機状態にしてください。  
テキストエリアに、「入モードに変更しました」または、「出モードに変更しました」と表示されるので、目視で確認してください。  
※「入モード」ではボタンが青色、「出モード」ではボタンが赤色になります。  
※「入モード」、「出モード」は適宜切り替えができます。
2. スキャナでコードを読み込むと、通常スキャナから「ピッ」音、テキストエリアに「00000番を読み込みました」と表示されます。
3. 連続して同じコードを読み込んだ場合のみ、読みミスと判断して記録されません。  
テキストエリアに「スキャンデータが重複のため登録しません」と表示されます。
4. 直前に読み込んだ1回分のデータを取り消すことができます。「直前データの取り消し」ボタンをクリックしてください。
5. スキャンを停止する場合（休憩など中座する場合など）は、誤入力を防止するため、「停止」ボタンをクリックしてください。スキャナでコードを読み取ってもシステムは動作しません。再開時には「入」「出」ボタンをクリック、待機状態を確認後、読取を開始してください。
6. 何らかのトラブルでスキャナでの読取が出来なくなった場合、数字キーから入力できます。半角数字で指定した文字数（例：5文字の場合00001）を入力してください。最後の数字が入力されると1レコードとして記録されます。

**※本番中（システムの稼働中）、別のアプリケーションは起動・使用しないでください。  
スキャナが読み取ったコードを本システム以外の別のアプリケーションに渡してしまい、  
記録されません。**

## ■ 本番

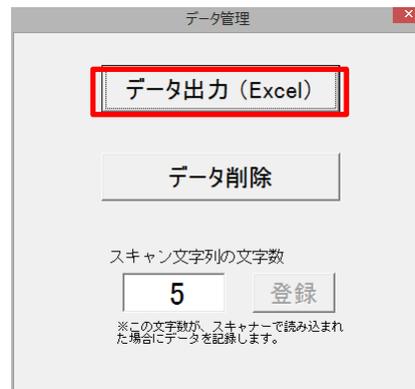
### ● データの出力



システム画面（入モード）

1. 「データ管理」ボタンをクリック、「データ管理画面」の「データ出力」をクリックすることで、.xlsmのデータシートをデスクトップに保存できます。ファイル名の末尾には出力した年月日、時間が記録されます。保存されるデータは、「データ削除」されるまで、新しいレコードが追加されたものになります。

※突然のPCや電源トラブルに備え、適当な頻度での出力をお勧めします。



データ管理画面

## ■ 出力データ (Excelワークシート)

コード表示

読み取った時間

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following data:

	A	B	C	D	E	F	G
1	QRコード	日時					
2	00001	2022/07/28 17:11:01					
3	00002	2022/07/28 17:11:04					
4	00003	2022/07/28 17:11:06					
5	00004	2022/07/28 17:11:06					
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							

The spreadsheet has two tabs at the bottom: "DataSheet入" and "DataSheet出". A red line points from the label "タブ" to the "DataSheet入" tab.

タブ

「入モード」と「出モード」で記録されたコードは別シートに格納されます